

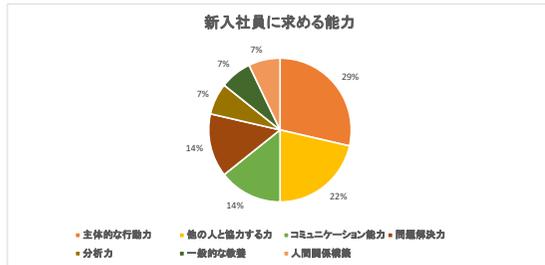
順天堂大学 国際教養学部 卒業生進路先アンケート結果

調査趣旨: 国際教養学部卒業生の在学中の学びが卒業後どのように生かされているのか、学生の就職先様よりご意見を頂戴し、今後の教育改善に活かす。

実施概要: 国際教養学部2019年3月卒業生～2024年3月卒業生進路先5社

実施方法: アンケート実施の上、回答内容についてZoomにてインタビューを行う

問1. 貴社が採用の際に重視しているスキルについて3つまでご選択ください。



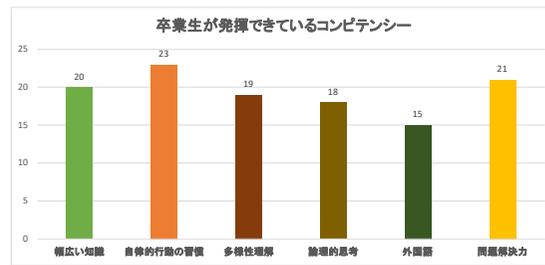
主体的な行動力の具体例

- ・どの職種に就くにあっても必要となる能力
- ・しかしながら、コロナの影響か、近年の若者には欠けている能力でもある
- ・能動的に動ける環境を作るのも大切
- ・失敗を恐れない姿勢が大事
- ・先輩上司にいつまでも甘えている若手社員が多い

他の人と協力する力の具体例

- ・社内でも横のつながりが大切になる
- ・チームプレイで取り組んだ内容だけでなく、どのような役割だったかも重要
- ・仲間を信じることの大切さを学生時代に学んでほしい
- ・周囲を巻き込む力が社会では求められる

問2. 貴社へ入社した卒業生は以下の能力を社内でのどの程度発揮できているでしょうか？



5:非常に発揮している 4:ある程度発揮している 3:どちらとも言えない 2:あまり発揮していない 1:発揮していない
(5社の評価ポイントの合計を25点満点で表示)

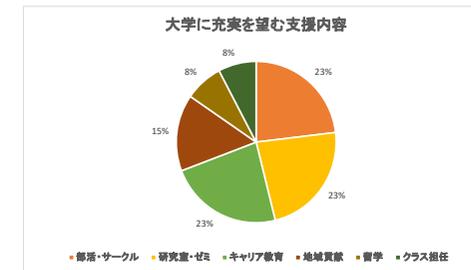
自律的行動の習慣の具体例

- ・何をしなければならぬかを自分で考え、自発的に動くことができる
- ・オンオフの切り替えをしっかりとできている
- ・細かな支持を出さなくても、しっかりと動ける
- ・自分の中で優先順位をつけて、しっかりとタスクをこなしている

問題解決力の具体例

- ・お客様自身が把握していない問題点にも気づき、解決できる
- ・初めてのことが多い中で、問題にぶつかっても諦めず解決する手段を探せる
- ・自分ひとりでは解決できないと判断した場合でも、しっかりと仲間へ頼って解決できる

問3. 今後大学として、どの分野の支援を充実させることが望ましいと思われるか。3つまでご選択ください。



部活・サークル

- ・チームで協力して、物事に取り組む経験をして欲しい
- ・学生時代に必死に何かに打ち込んで欲しい
- ・大学時代にしかできないことを満喫して欲しい

研究室・ゼミ

- ・論理的思考を鍛えるいい機会になる
- ・組織の一人として行動する機会になる
- ・自分の好きな事のでいいので、自分で考えて動く機会を与える

キャリア教育

- ・大学の授業やイベントで、企業や社会と交流を持つ機会を増やしてほしい
- ・素晴らしい経験や努力をしても、それを上手く伝えきれない学生もいるのでサポートが必要
- ・低学年時からキャリアについて考えさせることで、大学生活での学びに対する姿勢が変わってくると思う

調査結果概要: 企業が学生に求める能力として主体性と協調性が多く挙げられた。理由として、社会人に必要不可欠な能力でありながら、コロナ禍において様々な制約が原因で、これらの能力が不十分な若手社員が多く見受けられるからである。これらの能力を伸ばすためにも、大学には部活動やサークル・ゼミでの活動において、主体的に考える機会や、他者と協力して物事を成し遂げる経験の更なる提供を期待されている。また、就職活動前に社会と交流する機会を増やし、社会について関心を高めることもこれからの大学の課題として挙げられた。卒業生の発揮できている力としては、“自律的行動の習慣”が最も高く、自分が取るべき行動をしっかりと考え、実行に移せる方が多いとの評価を受けた。一方、“論理的思考”については十分に発揮できているとは言えず、授業やゼミを通して論理的思考力を一層鍛えることを企業様より期待された。